

小田鉄工

鋼構造物の製作好調

シヨットプラスト更新へ

小田鉄工(本社=兵庫県加西市、小田岳人社長)は今期(2018年11月期)、鋼構造物の製作量が月間平均で2000~3000トと順調に推移している。今後も付加価値の高い鋼構造物の受注・製作を展開し、数量の拡大を目指す。この一環として、4年前から設備投資を進めているが、昨年は本社工場の5トの天井クレーン2基を増設し5基体制とした。今後は年内までに、シヨットプラスト1基を更新する計画。



小田社長

同社は兵庫県のMグレイドのファブリケーター。本社工場に、バンドソー、ビームワーカー、アイアンワーカー、鋼板用の開先機、形鋼用の開先機、形鋼用穴

開け機、鋼板用の穴開け機、プレス設備、シヤリング、シヨットプラスト、各種溶接機などを持ち、鉄骨の製作、胴縁加工、橋梁の仮設材の製作、金物類の塗装加工などを手掛けている。

今期も橋梁の仮設材の受注が好調な上、県内他のファブからの鉄骨委託製作も堅調。結果、鋼構造物の製作

量は月間2000~3000トを継続、年間では3000トとなる見込み。内訳は梁など鉄骨製作や胴縁加工などが約30%、橋梁の仮設材の製作が約65%、金物類の塗装などの他の加工が約5%。

今後はコンベアやトラック倉庫の架台の製作など付加価値の高い鋼構造物の受注・製作を強化する。また、3年

設備投資については2014年から、ものづくり補助金の採択を受けて、順次実施している。14年には胴縁関

係用のCADを導入、15年には幅最大1000mmまで加工ができるバンドソー1基を更

前年から開設した鍛鉄口トアイアン工房「カヌチ工房」を活用し、ここで開発・製品化した門扉、カーテンレール、タオル掛け、園芸関連製品もネットなどを通じて、販売を伸ばしている。

今年も助成金を認可されたことから、鋼板・形鋼兼用のシヨットプラスト設備1基を更新する。同設備は厚板で最大550mm幅まで加工ができ、厚板以外にチャンネル、アングルなど一般形鋼の加工もできるのが特徴。

小田鉄工は今年秋、地元の加西市のイベント「かさい まちあそび2018秋」の地域体験プログラムの提供企業として参加する。自社の本社工場内の「カヌチ工房」において、真鍮製のスプーンの製作体験を行うもので、10月21日の午前(10時から正午)と午後(1時から3時)に計10人の参加を予定している。

同社は2015年、「鍛鉄口トアイアン工房」開設、その製品の製作販売による経営革新」において

小田鉄工は今年秋、地元の加西市のイベント「かさい まちあそび2018秋」の地域体験プログラムの提供企業として参加する。自社の本社工場内の「カヌチ工房」において、真鍮製のスプーンの製作体験を行うもので、10月21日の午前(10時から正午)と午後(1時から3時)に計10人の参加を予定している。

地域体験イベントに一役

今秋、自社工場で真鍮製スプーン製作



郵便ポスト、小物、オブジェなどを製作している。こうした工房の活動については神戸市で開催される国際フロンティア産業メッセ2018秋「かさい」に初参加することに。小田社長は「市民や周辺地域の人に、小田鉄工がこうした工房を行っていることを認知してもらい、鍛鉄のインテリア関係の商品に興味を持ってもらうのが狙い。参加者がタンピルの上で真鍮をハンマーで叩き、スプーンを造ることを楽しんでもらいたい」とその開催を今から心待ちの様子で語った。(天)

中小企業庁の経営革新支援企業に選ばれた。これに伴い、本社工場内にカヌチ工房を開設し、室内階段・手摺、カーテンレール、門扉・フェンス、今年には本業が忙しなくな

ては、最大350℃の耐熱性能を持つとともに、関連市場からの要求度が高い300℃の長期連続使用下(1カ月間)でも、オリングの基本特性である圧縮性能や力学的強度等を保ち、安定したシール性能を発揮。このため耐熱性能が要求されるセスの高度な微細化が進むにつれ、半導体製造装置のシール材には、更に高い耐熱性能が要求されるようになってくる。新開発のオリ

350℃高耐熱性オリング

半導体製造装置向け開発

エア・ウォーター

エア・ウォーターはこのほど、子会社でリソングを製造するエア・ウォーター・マツハ(長野県松本市)と世界初の350℃の高耐熱性能を持つパーフルオロエラストマー(FFKM)製オリングの開発に成功し、新材料・新

製造法を用いた半導体製造装置用オリングを販売開始すると発表している。製造、販売元はエア・ウォーター・マツハで、9月からサンプル供給を開始し、来年年1月から量産を開始する予定。

世界で市販されている。新開発のオリングは、最大350℃の耐熱性能を持つとともに、関連市場からの要求度が高い300℃の長期連続使用下(1カ月間)でも、オリングの基本特性である圧縮性能や力学的強度等を保ち、安定したシール性能を発揮。このため耐熱性能が要求されるセスの高度な微細化が進むにつれ、半導体製造装置のシール材には、更に高い耐熱性能が要求されるようになってくる。新開発のオリ

新開発のオリングを使用することで、超高温域の使用環境下でもオリングのシール性能が低下する変形、崩壊、クラック等の発生が大

比較は、最大350℃の耐熱性能を持つとともに、関連市場からの要求度が高い300℃の長期連続使用下(1カ月間)でも、オリングの基本特性である圧縮性能や力学的強度等を保ち、安定したシール性能を発揮。このため耐熱性能が要求されるセスの高度な微細化が進むにつれ、半導体製造装置のシール材には、更に高い耐熱性能が要求されるようになってくる。新開発のオリ

技研製作所

耐震地下駐車場 24年ぶり更新

最新機械システム導入



技研製作所は9日、高知本社の耐震地下機械式駐車場「エコーパーク」を24年ぶりにリニューアルしたと発表した。近年の自動車の形状に対応したほか、最新機械システムを導入

クは94年に第1号機として完成し、利用してきた。その間には震度4の阪神・淡路地震、震度5の芸予地震の揺れを経験してきたが、H形鋼を圧入して構築した躯体と機械装置に

た。車両の搬送に使う装置を円形にして、旋回、昇降を同時に行う最新の機械システムを導入した。それにより、出庫の待ち時間も従来の38秒から29秒へと大幅に短縮した。

デザインは機能美を追求し、円形搬送装置に合わせた円筒形とし、プース形状に合わせた左右両開きの出入庫扉を採用した。

今回設置したエコーパークは、収容台数32台(1層8台×4)、入庫

追収減益に

増収減益に

増収減益に

技研製作所は9日、高知本社の耐震地下機械式駐車場「エコーパーク」を24年ぶりにリニューアルしたと発表した。近年の自動車の形状に対応したほか、最新機械システムを導入

クは94年に第1号機として完成し、利用してきた。その間には震度4の阪神・淡路地震、震度5の芸予地震の揺れを経験してきたが、H形鋼を圧入して構築した躯体と機械装置に

た。車両の搬送に使う装置を円形にして、旋回、昇降を同時に行う最新の機械システムを導入した。それにより、出庫の待ち時間も従来の38秒から29秒へと大幅に短縮した。

デザインは機能美を追求し、円形搬送装置に合わせた円筒形とし、プース形状に合わせた左右両開きの出入庫扉を採用した。

今回設置したエコーパークは、収容台数32台(1層8台×4)、入庫

追収減益に

増収減益に

増収減益に

鉄鋼開浦地極

増収減益に